

硫黄島 loujima

活火山の熱い鼓動を感じる島

硫黄島は、竹島から約40分で到着します。8つの島の中心に位置し、周囲19.1km、面積11.7km²、椿、つつじ、車輪梅の原生林や、野生の孔雀が街中を闊歩するのどかな風景が見られる島です。畜産と漁業を主な産業とし、温泉や名所旧跡（安徳天皇・僧俊寛）など豊富な資源を生かした観光も盛んな島です。



硫黄島の名所・特産品



①東温泉
硫黄岳を背景に、白波打ち寄せる岩場に湧き出した温泉は、この島ならではの野趣あふれる露天風呂。全国の秘湯ファンの人気を集めています。泉質は硫黄ミョウバン泉、港から徒歩で40分から1時間ほどの所にあります。無料でご利用いただけます。



②平家城跡
壇ノ浦の戦いに敗れ落ち延びた平家が追手の源氏を監視するために建てた城の跡だと伝わっています。天気の良い日には開聞岳を望むことができます。



③希望の鐘
島の南西部にある永良部崎(恋人岬)からは、晴れた日には屋久島、口永良部島、種子島の島影を望むことができます。永良部崎(恋人岬)につながる岬橋の手前に希望の鐘、その先にある恋人岬公園にはしあわせの鐘があります。



④しあわせの鐘



⑤みしまジャンベスクール
アジア圏内唯一の本格的ジャンベスクール。村内外から生徒が集まって、豊かな自然の中でジャンベの練習に汗を流しています。

ジャンベ
西アフリカの伝統打楽器であるジャンベ。1994年にジャンベに出会ってから、みしまと世界のつながりを強めるため、普及・演奏者の育成に取り組んでいます。



⑥俊寛像
1177年京都鹿ヶ谷荘にて、俊寛は平家打倒を企てたとして、硫黄島に配流されたといわれています。同じく島流しにされた平判官康頼・丹波少将成経はのちに赦されましたが、俊寛のみが硫黄島に取り残され、失意のうちにその37年の生涯を閉じました。遠のく赦免船を追いかけつづける姿を表しています。



⑦安徳天皇御陵
壇ノ浦を入水したとされる安徳天皇が実は硫黄島へ渡って生き延びたという伝説があります。硫黄島には、島で生涯を終えたとされる安徳天皇のお墓があります。



⑧熊野神社
俊寛と共に配流された平判官康頼と丹波少将成経が帰洛を祈り、紀州熊野権現を勧請して、ここに祭ったと伝えられています。



硫黄島の住民から
メッセージ



将来はこんな島に!

島の風習を受け入れながら、かつそれぞれの個性が発揮できるような島、生きがいを感じられるような島でありたいです。また、島にはハマボウフウやカメノテなど十分に活用されていない資源がたくさんあります。自分の島にあるものに誇りをもって、ものづくりにつなげられるような若者が育って欲しいです



安永考さん
硫黄島地区長

いつでも相談 してください!!

慣れないうちはいろいろと問題を感じることも出てくると思います。そんなときには、遠慮せず相談してください。

島のここが好き!

人と人との距離が近いところ。近すぎて逆に面倒くさいこともあるけれども、困ったことがあったらお互いに助け合える関係があるのは、素晴らしいことだと思います。



島に移住を 考えてる方へ!

コンビニもガソリンスタンドもないので一見不便に見えるかもしれないけれど、実際に暮らしてみると意外とどうにかなるものです。コンビニやガソリンスタンドは生きるために不可欠なものではないと気付かされます。



佐藤幸世さん
三島村観光案内所
結婚して島へ